

トラベル懇話会 2024年 国内研修旅行レポート

「成田空港に於ける今後の展開とグランドハンドリング対策について」

開催日： 2024年10月11日(金)～12日(土)

開催場所： 成田空港および周辺

研修・視察場所： 航空科学博物館 / 空飛ぶ学び舎ラボ / JAL アグリポート

成田国際空港株式会社 NAA ビル / 成田空港内

宿泊場所： インターナショナルリゾートホテル湯楽城

参加人数： 26名

1978年に開港以来「日本と世界をつなぐ表玄関」として1日に数万人もの人が行き交う成田空港。また、国際線旅客数で日本最大の空港と称される。

日本最大の国際空港としての成田空港



- 成田空港は国際線旅客数で日本最大の空港。羽田の国際化の影響を受けながらも着実に増加。

2000～2019 ACI空港ランキング(国際旅客数)

単位：万人

2000年		2005年		2010年		2015年		2019年						
1位	ロンドン(ヒースロー)	5,720	16位	ロンドン(ヒースロー)	6,124	1位	ロンドン(ヒースロー)	6,104	1位	ドバイ	7,801	16位	ドバイ	8,640
2位	パリ(シャルルドゴール)	4,372	2位	パリ(シャルルドゴール)	4,919	2位	パリ(シャルルドゴール)	5,324	2位	ロンドン(ヒースロー)	6,985	2位	ロンドン(ヒースロー)	7,605
3位	フランクフルト	4,056	3位	フランクフルト	4,520	3位	香港	5,035	3位	香港	6,828	3位	アムステルダム	7,171
4位	アムステルダム	3,944	4位	アムステルダム	4,406	4位	ドバイ	4,718	4位	パリ(シャルルドゴール)	6,043	4位	香港	7,142
5位	香港	3,275	5位	香港	4,027	5位	フランクフルト	4,661	5位	アムステルダム	5,828	5位	ソウル(仁川)	7,061
6位	ロンドン(ガトウィック)	2,914	6位	シンガポール	3,243	6位	アムステルダム	4,521	6位	シンガポール	5,545	6位	パリ(シャルルドゴール)	6,988
7位	シンガポール	2,862	7位	成田	3,031	7位	シンガポール	4,204	7位	フランクフルト	5,412	7位	シンガポール	6,828
8位	成田	2,660	8位	ロンドン(ガトウィック)	2,883	8位	ソウル(仁川)	3,308	8位	ソウル(仁川)	4,885	8位	フランクフルト	6,317
9位	バンコク	2,233	9位	バンコク	2,864	9位	バンコク	3,295	9位	バンコク	4,423	9位	バンコク	5,346
10位	ブリュッセル	2,159	10位	ソウル(仁川)	2,576	10位	成田	3,216	10位	イスタンブール	4,201	10位	台北(桃園)	4,869
11位	チューリッヒ	2,137	11位	ドバイ	2,478	11位	マドリード	3,107	11位	台北(桃園)	3,847	11位	マドリード	4,499
12位	台北(桃園)	1,868	12位	マドリード	2,254	12位	ロンドン(ガトウィック)	2,788	12位	ロンドン(ガトウィック)	3,667	12位	クアラルンプール	4,493
13位	ニューヨーク(JFK)	1,857	13位	台北(桃園)	2,170	13位	ミュンヘン	2,537	13位	クアラルンプール	3,476	13位	ロンドン(ガトウィック)	4,313
14位	ソウル(金浦)	1,799	14位	ミュンヘン	1,954	14位	台北(桃園)	2,511	14位	マドリード	3,383	14位	イスタンブール	3,958
15位	ロサンゼルス	1,742	15位	ロンドン(スタンステッド)	1,935	15位	クアラルンプール	2,377	15位	ミュンヘン	3,142	15位	ドーハ	3,880
16位	モントリオール	1,661	16位	マンチェスター	1,933	16位	ローマ	2,355	16位	ドーハ	3,101	16位	バルセロナ	3,866
17位	コペンハーゲン	1,631	17位	ニューヨーク(JFK)	1,914	17位	ニューヨーク(JFK)	2,311	17位	成田	3,055	17位	ミュンヘン	3,834
18位	マドリード	1,628	18位	コペンハーゲン	1,826	18位	チューリッヒ	2,219	18位	ニューヨーク(JFK)	3,008	18位	成田	3,665
19位	マイアミ	1,618	19位	ダブリン	1,780	19位	イスタンブール	2,036	19位	バルセロナ	2,909	19位	ニューヨーク(JFK)	3,432
20位	マンチェスター	1,593	20位	ロサンゼルス	1,749	20位	モントリオール	1,921	20位	ローマ	2,847	20位	ダブリン	3,281

※ACIデータよりDNAA作成

成田国際空港株式会社資料から

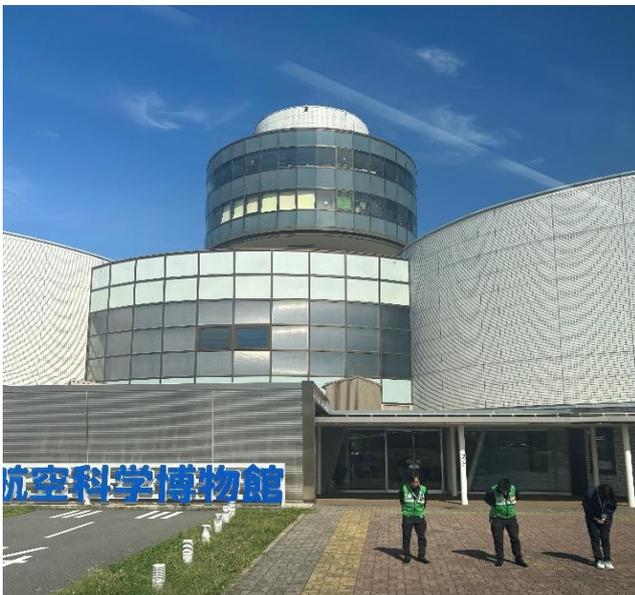
我々、旅行業務に携わる人間にとって「空港」は割と身近な存在に感じているが、つつい表舞台の華やかなイメージを持ってしまう。しかしながら、その表舞台を支える言わば「縁の下の力持ち」的な空港業務には様々な業種がある。その一つが「グランドハンドリング」だ。

今回はトラベル懇話会の会員で（株）JMRS の代表取締役社長の中鉢真輔氏と成田空港のスタッフによる、空港内グランドハンドリングの業務及び、JMRS が立ち上げた教育事業「空飛ぶ学び舎ラボ」や、空港近隣の「航空科学博物館」、日本航空が運営している農業施設「JAL アグリポート」等、貴重な体験となりました。

訪問先① 航空科学博物館

講師：公益財団法人航空科学博物館 館長・常務理事の郡司文夫氏

成田空港隣接地の芝山町に日本初の航空思想普及施設として、1989年8月に開館。古くから航空博物館は世界中のあちこちに存在していたが、日本の事業としては1977年に地元芝山町の要望のひとつとして初めて運輸大臣に提出、かねてから航空関係者等から航空博物館を創設し、民間航空の実状の紹介、航空界の歴史的経緯の展示等が強く要望されていた。とくに若い世代に対し航空に関する科学知識についての啓発、航空思想の普及及び航空科学技術の振興に寄与し、あわせて日本の航空事業発展に貢献することを目的に、総合的な航空思想普及施設として「航空科学博物館」を建設されたとのこと。



写真左（株）JMRS のスタッフに出迎えました。



右 航空科学博物館内

施設は幼稚園園児たちの遠足、小中学生の社会科見学等にも人気があり、屋外の敷地内には数々の民間航空機を展示、また地元住民との交流を目的として「夏祭り」の会場にもなり、幅広い層に受け入れられている。5階にある展望ルームからは、成田空港のA滑走路が良く見え、旅客機や貨物機がテイクオフ（風向きによりランディング）の様子を楽しむことが出来る。ちょうど私達の訪ねた時間帯に機体の

尾翼にエンジンのある、(MD-11) FedEx の今では貴重な貨物機がアンカレッジに向けて飛び立っていった。



懐かしい YS-11 も展示されている

訪問先② 空飛ぶ学びの舎ラボ

講義：(株) JMRS 成田空港スタッフ 小田島氏等

成田空港内のグランドハンドリングの仕事

旅客サービス / チェックイン / 空港管理 / ケータリング / 整備士 / 販売スタッフ / ディスパッチャー / 警備員 / 税関 等の概要について学ぶ。素人や特に日本全国からの小・中・高校生等を対象としても分かりやすい説明を受けた。また、空港の地下に張り巡らされた旅客が預けたバゲージの輸送ルート・仕分けや、千葉港石油ターミナルから駐機されているエプロンエリアまでのじつに4.7kmのパイプライン等、(株) JMRS の保有している機材一式の説明等興味深い話を伺えた。

空飛ぶ学びの舎ラボに隣接する「空と大地の歴史館」にも立ち寄り、成田空港と地域をめぐる開港反対闘争等、成田空港が最終的に開港するまでの歴史に残る苦悩が細かく文章と写真で描かれ、改めて苦闘から現在に至るまでの出来事が理解できた場所であった。



空飛ぶ学び舎ラボ入口での集合写真

訪問先③ JAL アグリポート 農園見学。

(株)日本航空が運営、一般公開としたイチゴ、サツマイモをはじめとする果物や野菜の収穫体験が出来る施設で、立ち上げ理由として2010年に羽田空港の国際化により発着地を成田から羽田に移行した民間航空会社も多くJALとしての新事業開拓の一環として日本の一丁目一番地ともいえる「農業」に着目。そして昨今のインバウンド需要も視野に国内外のマーケットを拡大、地域の逸品を世界に発信するといった事があげられた。

また、JAL アグリポートの古民家風レストラン「御料鶴」での昼食は、自社農園で栽培した食材や、成田市周辺の農産物を使った「地産地消」の料理を提供していて、数種類の小鉢に入った具材はどれも自然な風味の美味しいお食事であった。



アグリポート農園



美味しいお食事

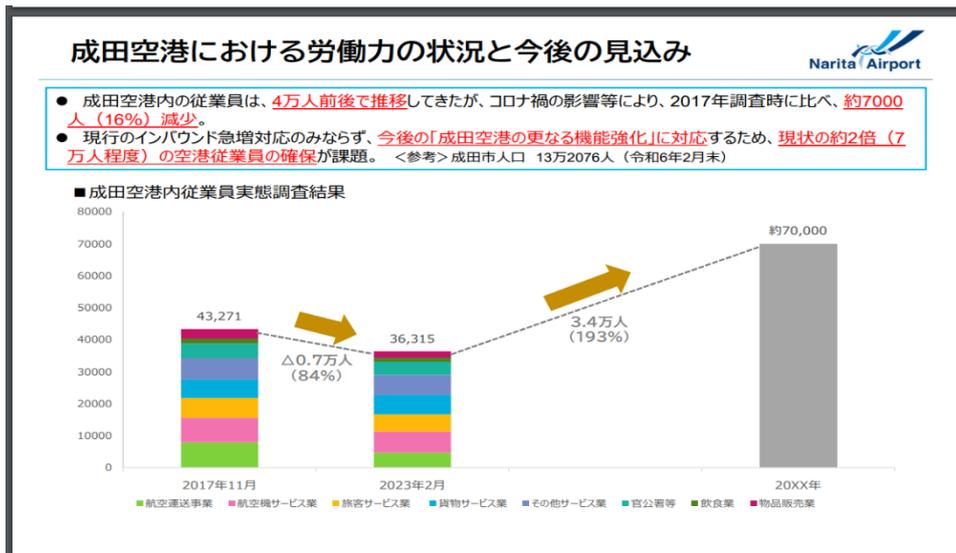


古民家風「御料鶴」

訪問場所④ 成田国際空港株式会社 NAA ビル

講師：成田国際空港(株) 執行役員戦略企画室長 片山敏宏氏

現在、成田空港には2つの滑走路（A滑走路：4,000m、B滑走路2,500m）を保持し、3つのターミナル（第1、第2、第3）により、計5,700万人の旅客をハード面でハンドル出来る処理能力がある。一方で、現在は約36,000人の従業員で賄っているのが現状で到底人員数が足りる域ではない。ましてや昨今のインバウンドの急速な回復による航空会社の乗り入れ増便ニーズが高まり、今後の成田空港の更なる機能強化に対応するためには70,000人程度（現状の約2倍）の従業員確保が必須である。また、現在のB滑走路を1,000m程度延伸、さらにC滑走路(3,500m)の新設計画や、年間発着枠を30万回から50万回に増加する計画等を考えると早急な人員確保に乗り出さなければならない。



成田国際空港株式会社資料から

その為に、NAAとして空港と地域一体となった人員の確保には、給与等の待遇改善のみならず、空港周

辺への住居環境、子育てのしやすい教育の場の拡大、空港と住居地域間の公共交通機関の整備、外国人スタッフに対する言語の壁を取り払う、若者に「成田で働くことが楽しい、生きがいに感じる」環境を作り上げる為に町、県、国も一体になって取り組む必要がある。また、人員確保のみならず、DXの利用で、人ではなく、ロボットの活用や自動化を促進していく。そしてとくに「グランドハンドリング」についてはNAAも積極的に新規グランドハンドリング会社の誘致を行っていく。との熱意ある講義を頂いた。

訪問場所⑤ (株)JMRS 成田空港内オフィス見学及び機材の紹介



ジュリアナ東京ではありません



妙にサマになっています



プッシュバックトラック

宿泊先

「インターナショナルリゾートホテル湯楽城」は特に浴場はまるでテーマパークのようなエンターテイメント性の高いホテルで、会員の皆さんは、まずは「ひとつ風呂」浴びてから宴会場での懇親会。その後、二次会・三次会と深夜まで真剣に意見交換が続きました。



宴会場で食事と会話を楽しむ会員のみなさん。

私達は旅行業界に従事している者として、成田空港で働く皆様の活躍を理解し、改めて「旅」の素晴らしさを発信し続ける責務があると感じました。

最後に、今回の研修旅行でお世話になった（株）JMRS の中鉢氏と空港関係の皆様へ感謝申し上げます。

筆 船岡千晶